

令和4年度 飯塚市立幸袋中学校 自己評価・学校関係者評価結果

【学校教育目標：自ら学び、仲間とともに志の実現を目指して挑戦する子どもの育成（自律・協働・創造）】4段階評価（良い方から 4→3→2→1）

<学習指導>

	評 価 項 目	第1回	第2回	平均
1	チャイムと同時に授業が始まりましたか。	3.5	3.5	3.5
2	授業の始めと終りのあいさつが、きちんとできましたか。	3.0	3.2	3.1
3	生徒は、学習の準備がきちんとできましたか。	3.3	2.8	3.0
4	落ち着いた雰囲気の中で授業が行われましたか。	3.3	3.4	3.4
5	生徒の学力は向上していると考えますか。	2.8	3.1	3.0
6	教科の学力向上プランは実施できましたか。	3.1	2.9	3.0
7	教科の学力向上プランの成果はありましたか。	3.0	3.0	3.0
8	毎時間の授業で、主眼(ねらい)を設定できましたか。	3.8	3.5	3.6
9	授業で、基礎・基本を習得させる工夫を行いましたか。	3.4	3.5	3.5
10	授業で、情報・視聴覚機器を活用できましたか。	3.2	3.2	3.2
11	課題を出すなど、家庭学習を定着させる工夫をしていますか。	2.9	2.9	2.9
<p>【考察】</p> <p>○基礎・基本の定着や活用力を育成するために、落ち着いて学習できる環境作りを教員が率先して行っています。本年度も生徒会役員が毎月の目標を決め、授業前の着席や授業中の態度の啓発を行ってくれました。その結果「落ち着いた雰囲気の中で授業が行われているか」の数値を3.4と昨年に続き高い数値を維持できています。</p> <p>○学力向上に向けて、毎時間のねらいを明確にした授業、毎朝の学力アップタイムで反復学習、定期考査後の「幸中チャレンジ週間」での復習、「自学ノート」を活用した家庭学習など基礎・基本を定着させる取組を学校全体で組織的に取り組むことができています。本年度はタブレットを使った教師作成の反復学習も実施でき、一定の成果がありました。</p> <p>▲生徒の学力を付けようとする努力も見られ、様々な工夫を行いましたが、諸検査結果から数値としての伸びは少でした。生徒アンケートから何をどのように家庭で学習していいかわからないという声があります。今後、学び方を生徒に習得させる取組を行う必要があると考えています。</p> <p>【学校関係者の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生方も、生徒のやる気や意欲の向上を如何にして確立していくかという課題に対して大変頑張っておられると思います。学習指導において、生徒自身で目標を設定し、自己管理能力を高めていくということは、指導者の能力や指導者が生徒の理解度や興味関心に合わせた適切な授業や指導が重要であると考えます。この中で、ICT教育は、多様な学習スタイルに合わせた指導が可能になり学習内容を視覚的に示すことができ、学力向上にも繋がっていくと感じます。 ・授業改善の取り組みやタブレットを活用した学習等、先生方の創意工夫が見れて、生徒は落ち着いて学ぶことができていると思います。生徒が自ら学ぼうとする学習習慣を身に付けるためにも、家庭と連携し、予習・復習など家庭学習の定着を図ってください。 ・落ち着いた環境づくりができていることは素晴らしい。今後も、さまざまな新しいことを実現していただき、家庭との情報共有、それによる生徒のやる気、学力の向上が計れるとよいと思います。 ・様々な経験ができるような授業をされており、来年以降も同じ方向性を持った学習指導がされてほしいです。 ・コロナ禍で通常のカリキュラムができなかった分が押し寄せて子どもたちも大変だったと思います。その影響で、差ははっきりしてしまった様な気がします。 				

<生徒指導>

	評 価 項 目	第1回	第2回	平均
12	生徒は、あいさつがきちんとできていますか	2.4	2.6	2.5
13	生徒は、適切な言葉づかいができていますか	3.3	3.3	3.3
14	生徒は、服装や頭髪などのきまりを守れていますか	3.2	3.4	3.3
15	職員は、生徒指導に関する情報を共有していますか	3.6	3.6	3.6
16	どの先生も、同じ方針で生徒指導を行っていますか	3.2	3.3	3.2
17	生徒指導委員会が示す生徒指導の方針や内容が、職員に徹底され、組織的な取り組みができていますか	3.5	3.4	3.4
18	授業の中で、共感的な人間関係づくりや生徒自身が決定する場面設定や生徒が自尊感情の高まりを感じる工夫をしていますか	3.0	3.1	3.0
19	学校行事の中で、18の質問のような工夫がなされていますか	3.0	3.3	3.1
<p>【考察】</p> <p>○生徒指導の目的である自己指導能力の育成をめざし、生徒指導委員会では各学年の情報交換を毎週行っています。全職員で情報共有を徹底し、指導方針を明確にした生徒指導を行っており、各評価項目で高い評価となっています。また、ほとんどの生徒は学校のきまりを守り、落ち着いた学校生活を送ることができています。</p> <p>▲昨年度に続き、挨拶の数値が低くなっています。マスクを付けることや、大きな声を出せない等制限も一要因と考えますが、日頃から挨拶のある環境づくりを行っていく必要があります。</p> <p>▲いじめや悩みの特化したアンケートを定期的にも実施しています。また、不登校を解消するために不登校対策委員会を毎週行い、個別に欠席日数、遅刻数、家庭環境など生徒の情報を共有しています。しかし不登校生は減少していません。保護者と連携をとり、生徒の現状把握を行い、個に応じた生活支援、学習支援を継続していく必要があります。</p> <p>【学校関係者の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に挨拶をする練習をすることは有効と感じます。先生に対する挨拶の仕方や先生と挨拶の練習をすることで、挨拶をすることが自然と身につくようになります。生徒が、どのような理由で挨拶をしないのかの原因を探ることで、生徒が自分の弱さや不安を打ち明けやすくなるため効果的な支援ができると思います。挨拶はコミュニケーションのツールであり、社会人になっても役立つと思います。 ・全職員で情報を共有し、生徒指導を行っていることがよくわかります。 ・文化祭の合唱コンクールが本当に素晴らしく、共感的な人間関係づくりや自尊感情の高まりを感じました。 ・コロナ禍で全国的にも不登校が増加傾向にあります。不登校になった要因も様々だと思います。保護者との連携や個に応じた生活支援・学習支援をお願いします。 ・ブラック校則緩和の兆しが見れることをいいことに勝手な解釈をしている家族が増えていると思います。守っている子どもにしてみれば迷惑だと思います。頭髪違反は親のモラルの低さもあり、先生たちにはお手数おかけするばかりで申し訳なく感じます。 				

<豊かな心>

	評 価 項 目	第1回	第2回	平均
20	思いやりや命を大切にす心、正義感や規範意識、望ましい勤労観や職業観など、生徒に豊かな心は育っていますか	3.2	3.3	3.2
21	道徳科は、計画的に実施されていますか	3.2	2.9	3.0
22	道徳科では、多様な資料や指導方法の工夫が行われていますか	3.3	3.5	3.4
23	生徒の人権尊重の精神を養育することを意識して日常の教育活動を行っていますか	3.5	3.3	3.4
24	教師自身が人権感覚を磨き、生徒に対する言動や対応に十分注意していますか	3.4	3.5	3.4
25	3年間を見通した、計画的な進路学習ができていますか	3.2	3.2	3.2
26	生徒の良さの発見に努め、良さをほめていますか	3.5	3.6	3.5
<p>【考察】 ○道徳科の授業では、教科書をはじめ多様な資料を活用したり、指導方法を工夫し生徒の豊かな心の育成を意識した指導を日々行っています。生徒のよさを褒め、さらに伸ばす意識が教員の中の共通認識となってきました。</p> <p>○全ての教育活動において、人権を尊重して指導にあたるということを全職員が共通認識しています。人権尊重の精神を意識して、日々の教育活動、学校行事などを行う意識が定着しています。</p> <p>▲生徒が中学卒業後の進路や将来像をさらに明確にできるよう自分の志達成までの見通しを持つ、「こころざシート」が生徒にも定着してくるなど、進路学習・キャリア教育が行えています。しかし、道徳科の時間が削られることがありました。キャリア教育と道徳科の時間を計画的に進める課題があります。</p>				
<p>【学校関係者の意見】 ・中学生にとっての道徳科の時間は、社会科や保健体育などの倫理観、社会常識、人間関係、人格の形成、あるいはコミュニケーション能力の向上にも繋がっていきますので力を入れていただきたいと感じます。そして、将来的に、社会に貢献できる人材育成に努めていただきたいと思ひます。 ・教師の人権感覚を磨き、生徒の人権を尊重して教育活動が行われている。今後も続けてほしいです。 ・挨拶は思った以上に中学生はできていると思ひます。 ・以前よりも今後は今までできなかったことができるようになり、活気づくとよいと思ひます。難しい世代ということもあるので、精神面でのバックアップも気にかけていただけたらと思ひます。 ・指導してもらふ分野が増えすぎている時代で先生方には感謝しかありません。誉めて伸ばす時代ですが、社会で通用しないことは叱られることは愛情があるからだということをどれくらいの子もたちが理解してくれているか心配です。</p>				

<その他>

	評 価 項 目	第1回	第2回	平均
27	各分掌係は、見直しをもって計画的に仕事をしていますか	3.2	3.2	3.2
28	各分掌間の連絡や連携は、円滑にできていますか	3.3	3.2	3.2
29	職員朝礼や職員会議は、効率的に行われていますか	3.6	3.6	3.6
30	学校行事は、前年の課題が生かされ改善が図られていますか	3.5	3.4	3.4
31	学校は、家庭への情報提供を十分に行っていますか	3.5	3.8	3.6
32	小中一貫教育推進で所属する部会の取組は進んでいますか	2.7	2.9	2.8
<p>【考察】 ○昨年度に続き、職員会議や職員朝礼は高い数値を維持しており、効率的に進めることができていると考えられます。各校務分掌に関する評価も高く、連携を図りながら計画的に仕事ができていると思ひます。</p> <p>○家庭への情報発信は、学校通信、学年通信、個人面談を中心に行っています。また、ホームページを使った情報の発信も行えるようになってきました。</p> <p>▲昨年度に続き、コロナウイルス感染症により、小中一貫教育や学校行事は大きな制限を受けました。しかし結いの日を実施するなど、できることから再開しています。オンラインを使った交流なども今後検討する必要があります。</p>				
<p>【学校関係者の意見】 ・令和5年度からは、新制服となり気分も一新し新しい取り組みに期待しています、保護者との連絡体制も確立されており、さらによりよい学校運営に尽力されてください。 ・コロナ禍でもできることをできる方法で「結いの日」の取り組みや「小中合同委員会」の企画の実施ができている。小中一貫校ならではの取り組みができていることを全国サミットで実感しました。 ・学校通信では、情報発信が詳しくなされていると思ひています。 ・多くの生徒がいる中、問題があれば情報共有していただけるので安心しています。</p>				